GMO INTERNET GROUP

2026 年 11 月 27 日

各　　位

住所　東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
会社名　GMO インターネットグループ株式会社
代表者　代表取締役グループ代表
会長兼社長執行役員・CEO
兼グループ AI 変革最高責任者・CAIO
熊谷　正寿
（コード番号　9449　東証プライム）
問い合わせ先　取締役　グループ副社長執行役員・CFO
グループ代表補佐
安田　昌史
TEL　03-5456-2555（代）
URL　https://group.gmo

2026 年 12 月期通期連結業績予想及び 2027 年 12 月期連結業績目標に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026 年 12 月期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の通期連結業績予想及び 2027 年 12 月期（2027 年 1 月 1 日～2027 年 12 月 31 日）の連結業績見通しについて、下記のとおりお知らせいたします。当社はこれまで連結業績予想を非開示としておりましたが、不正アクセス事案を踏まえ、投資家の皆様から今後の見通しについて多くのご質問をいただいていることもあり、事業の実力を示す指標として事業利益を重視していることから、本開示では売上収益及び事業利益の見通しをお示しするものです。なお、営業利益以降の項目は、一時的な損益を含むことから、従来どおり、決算発表にて開示いたします。

1. 2026 年 12 月期通期連結業績予想（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）	売上収益	事業利益（※）
前期実績（A）（2025 年 12 月期）	285,261	61,296
業績予想（B）（2026 年 12 月期）	320,000	67,000
増減額（B－A）	34,739	5,704
増減率（%）	12.2%	9.3%

※　事業利益：IFRS の営業利益から、減損損失、その他の性質上一時的又は偶発的と判断される項目を除外した利益指標です。

第 4 四半期の見通しは、第 3 四半期累計の実績に、現時点で把握している不正アクセス事案によるグループ各社の事業への影響などを織り込んで算定しております。

2. 2027 年 12 月期（2027 年 1 月 1 日～2027 年 12 月 31 日）連結業績見通し

2027 年 12 月期は、インターネットインフラ事業を始めとした岩盤ストック収益の積み上げ等により、連結売上収益 3,300 億円以上（前期比 3.1%以上の増加）、事業利益 740 億円以上（同 10.4%以上の増加）を目指します。

主な前提として、インターネット金融事業・暗号資産事業は前年度と同水準と仮定し、インキュベーション事業における

株式売却による損益は織り込んでおりません。

なお、2027 年 12 月期の配当予想を含め、精度を高めた連結業績予想は、2027 年 2 月の 2026 年 12 月期決算発表時に公表する予定です。

3. 株主還元について

2026 年 11 月 13 日付け開示「株主還元方針の変更(配当方針の見直しおよび DOE 指標の導入)に関するお知らせ」のとおり、当社の株主還元に関する基本方針は、「①配当性向:配当については、単体最終利益の 100%を原資とし、連結配当性向の目標を最大 100%とする。 ②配当の下限:DOE(親会社所有者帰属持分配当率)5.0%を下限指標として設定する。③自己株式の取得・消却:総還元性向の目標は設定せず、配当性向(最大100%)を株主還元の基本とする。自己株式の取得は、業績及び財務体質の状況等を総合的に勘案し、株価水準に応じて機動的に実施し、取得した自己株式は順次消却する」というものです(詳細は同開示をご参照ください)。

なお、2027 年 12 月期の年間配当は、下限である DOE5.0%に基づく試算で、1 株当たり 73 円以上となる見通しです(試算の前提:2025 年 12 月末及び 2026 年第 1 四半期末から第 3 四半期末までの各四半期末における親会社の所有者に帰属する持分合計の平均約 1,321 億円、発行済株式数 90,226,502 株(2026 年 11 月 11 日付け自己株式消却後))。精度を高めた配当予想は、2027 年 2 月の 2026 年 12 月期決算発表時に公表する予定です。

以 上